



Dai 1 NAIKA News

平成 25 年 2 月 26 日

三重大学病院
総合内科、循環器内科
消化器・肝臓内科、腎臓内科
広報誌【第 9 号】

発行 / 三重大学医学部第一内科
〒514-8507 津市江戸橋2-174
TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/index.html>

ごあいさつ

先生方には、平素より大変お世話になっておりまして誠に有難うございます。大学病院も移転後丸一年を経過し、順調に稼働しております。これも患者さんのご紹介をはじめとして、先生方のお力添えによるものと重ねて御礼申し上げます。

第一内科の診療活動としまして、昨秋より総合内科外来の診療活動を開始しました。内科疾患でその病態がいろいろな臓器に及んでいるケースなど、専門診療科を特定するのが難しい患者さんをご紹介頂ければ幸いです。総合内科初診担当医は、本ニュース裏面に記載させて頂いています。

先生方との診療連携の勉強会としまして、“循環器・腎疾患の診療ネットワークを広げる会”を、年に3、4回開催させて頂いています。先日は、三重大学の救命救急センターでの話題を中心に先生方とディスカッションすることができました。先生方との連携を進める地域の医療向上を目指して、今後いろいろな企画を行っていきたくと思っていますのでよろしくお願い致します。これら第一内科関連研究会の開催に関しますインフォメーションは、第一内科 Face Book でもご案内させて頂いております。



伊藤 正明

本年度より、三重県における急性心筋梗塞の診療体制に関する研究を、県の地域医療再生基金および厚労省の科学研究補助金を受けて開始しております。急性心筋梗塞の病院受診に関する現状、救急車心電図電送システムの有効性検討（津地区）、心臓リハビリテーションの充実、県民への啓蒙活動などを中心として、取り組んでいきたいと思っています。本研究の推移、結果につきましては、先生方に逐次ご報告させて頂きまますのでよろしくお願い申し上げます。

大学病院の活動では、研究、とりわけ臨床研究が大切です。臨床研究に参加して頂ける患者さんのリクルートにつきましても先生方の病院やクリニックに大変お世話になっております。高血圧治療に関します OWASE Study、透析患者さんの心血管病態に関する前向き観察研究 Mie-CARE HDをはじめ、いくつかの臨床研究が軌道に乗ってまいりました。OWASE Study では、先生方に大変積極的なご支援を頂き、予定より10 か月も繰り上げてエントリーが終了いたしました。今後の、解析が大変楽しみな状況です。今後本第一内科ニュースにおきましても、第一内科の臨床研究につきまして先生方にご紹介させて頂く予定です。

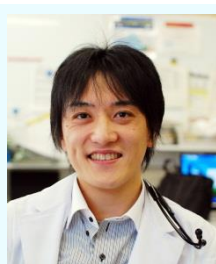
来年度も先生方の診療のお役に立てるよう、そして三重県の医療、医学研究を推進させるため尽力致して参りますので、よろしく願ひ申し上げます。

尾鷲での地域医療を経験して

平成 24 年 6 月より半年間ではありましたが、東紀州の地、尾鷲総合病院での地域医療の機会を得ることができましたので、皆様にご報告したいと思います。

前任の先生方は 4 か月間の勤務でしたが、プライベートも実臨床もとても有意義な時間を過ごすことができ、2 か月間延長してもらったと言っても過言ではありません。このような環境でお仕事をさせていただけたのも、副院長である小藪先生のご配慮、そして人を思いやり温かく接して下さるスタッフの皆様のおかげであったと思います。

現在の医療は、研修医制度が導入されたとはいえ、より細分化され、専門性は重視される傾向にあります。実際、名医として名を馳せる先生方の中にも、“何でもできる”総合的な医療を提供できる先生はどれほどみえるのでしょうか？専門的な知識・技術、そして高度医療を提供できるに越したことはありませんが、地域医療とは、患者様を目の前にして、各々の疾患に対して幅広い医療を速やかに提供することが必要とされています。



中森 史朗
CCU ネットワーク支援センター
助教

金曜日に循環器内科、総合内科の初診外来を担当しています。

そして、救急現場での迅速な対応、ファーストタッチのみならず、入院後加療、退院に至るまでのトータルマネジメントができることも、質の高い総合医になる訓練になり、地域医療の魅力ではないかと思います。

また、私が勤務させていただいた尾鷲は、都会と違い人間味のあるとてもあたたかい包容力のある町です。短期の赴任にもかかわらず、プライベートでもたくさんの行事にお誘いいただき、多くの経験ができたのも、大好きな尾鷲総合病院のスタッフのおかげであると感謝しています。

今後は、このような地域医療の魅力を訴えることにより、特に若い力を要する地域医療の充実を目指した医学教育にも努力が必要であると実感しております。そして、尾鷲の方々に不利益がないように、しっかりとした医療提供、医療システム構築に向けて、微力ながらも努力していきたいと思っています。

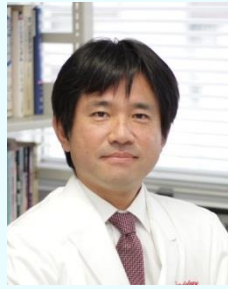


力を合わせてゴールを目指すいかだレースの参加者—紀北町海山区区民団浦

ワンポイントレクチャー

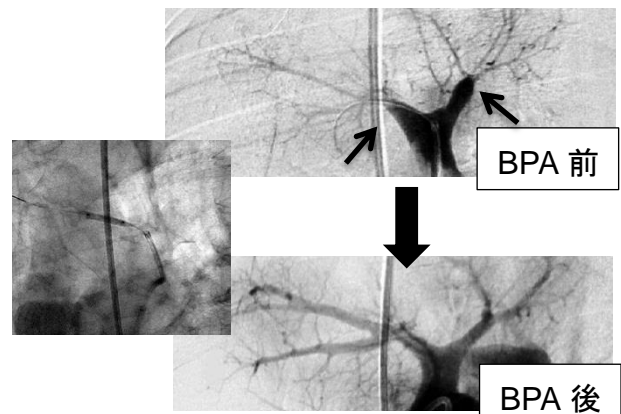
慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する経皮的肺動脈バルーン拡張療法

慢性血栓塞栓性肺高血圧症 (chronic thromboembolic pulmonary hypertension: CTEPH) は器質化血栓による肺動脈の狭窄/閉塞が原因で肺高血圧を来す予後不良の疾患です。CTEPH の治療法としては器質化血栓を肺動脈壁と共に削ぎ取る肺動脈血栓内膜摘除術が有効ですが、器質化血栓が肺動脈近位側になく区域枝より遠位側に局限している、いわゆる末梢型 CTEPH では手術の適応から外れます。こうした症例には抗凝固療法に加



山田 典一
循環器内科 講師
総合内科 科長

えて血管拡張薬が用いられてきましたが、治療効果は乏しく予後改善も得られません。しかし、最近、末梢型 CTEPH に対する経皮的肺動脈バルーン拡張療法 (balloon pulmonary angioplasty: BPA) の効果が報告され、有効な治療法として大変注目を集めています (図)。複数個所に BPA を施行することで末梢肺動脈への血流が増加し、肺動脈圧など血行動態各指標の改善や運動耐用能の改善が得られます。肺水腫などの合併症のため欧米ではほとんど行われておらず、現在のところ有効性や安全性を日本から発信する形になっています。しかし、我が国でも未だ BPA の手技は確立しておらず、現在、日本循環器学会が中心となりガイドラインを作成しており、三重大学も参加しております。当科では末梢型 CTEPH に対する BPA 治療のみならず、肺高血圧症の最先端治療に積極的に取り組んでおりますので、肺高血圧症が疑われる患者さんがみえましたら、是非、ご紹介ください。



末梢型 CTEPH に対して BPA を施行 (右上葉矢印部位)、BPA 後には狭小化していた肺動脈が拡張し末梢の血流が改善。

Pick Up! 新任医師紹介

1月1日付で循環器内科に赴任いたしました藤本直紀と申します。専門は心不全の検査・治療であり、以前はコンダクタンスカテーテルを用いて心不全の病態解明を行ってまいりました。2009年から米国留学の機会をいただき、健常者や心不全患者での運動時の血行動態評価、運動療法が心血管へ与える効果、等の研究に従事しました。運動療法は、慢性心不全患者の自覚症状や予後を改善させ、日本循環器学会のガイドラインでも非薬物的治療として推奨されております。今後、当科では、運動負荷時の心肺機能の評価を積極的に行い、それらに基づいた運動療法を日常臨床に取り入れていきます。また、患者さまひとりひとりの病状や家庭状況に応じた運動療法を提案させていただきます。



藤本 直紀
循環器内科 医師

お知らせ

「第7回循環器・腎疾患の診療ネットワークを広げる会」

日時：2013年2月21日(木) 19:00～
場所：ホテルグリーンパーク津 6階「葵・橘」

県民公開講座「あなたの腎臓を守る」

日時：2013年3月3日(日) 13:00～15:00
場所：三重大学講堂「三翠ホール」

※詳しくは三重大学第一内科の Facebook をご覧ください。

●第一内科外来担当がリニューアルされました。

		月	火	水	木	金
総合	初診	山田 山本	後藤	岡本 石川 荻原	白木 中村	中森
	初診	伊藤 山田	藤田 後藤	岡本 荻原	中村 藤井 渡辺	谷川 中森
循環器	再診	谷川、中嶋 太田/土肥 PM 外来 杉浦(伸)	杉浦 (英)	谷口	澤井 松田	山田 藤井 土肥
	初診	藤本	休診	石川	村田	藤本
腎臓	再診	石川	休診	休診	休診	村田
	初診	山本			白木	
消化器・肝臓	再診	白木 杉本(和)		山本	杉本(和)	

注) 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療目的で御紹介いただく場合は、可能な限り火曜日と木曜日の不整脈外来 (担当: 藤田、藤井) に御紹介をよろしくお願い申し上げます。PM 外来=ペースメーカー外来 (1,2,3週のみ)

●第一内科ホームページ

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/intmed1/>

●ドクターたちのひとりごとブログ「第一内科 Café」

<http://ameblo.jp/miedailnai/>

●三重大学病院循環器内科、腎臓内科

～患者様をご紹介ください～

1 FAX 新患予約

「診療予約申込書」(三重大学医学部附属病ホームページ <http://www.hosp.mie-u.ac.jp> の「医療機関の方へ」からダウンロード可) に必要事項を記入の上、FAX059-231-5541 に送信してください。15分以内に折り返し FAX で診療予約の回答をさせていただきます。

2 緊急受診、ご相談等

下記、循環器内科、腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。病棟主任が直接対応させていただきます。

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先 (直通)
内科外来: 059-231-5146 病棟: 059-231-5101
FAX: 059-231-5518 研究棟: 059-231-5015
患者様の紹介、相談にご活用ください。

本機関誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科 HP まで。
naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp

